

# Information

No.2026-2 Date 2026.1.

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### ○項目名

- SP-D(肺サーファクタント蛋白D)/ラテックス凝集比濁法

(依頼コード No.14222)

受託開始日 2026年3月2日(月) ご依頼分より

SP-D(肺サーファクタント蛋白D)は肺胞II型細胞などで産生される親水性の糖蛋白で、肺胞内腔の虚脱防止による呼吸機能の維持や、マクロファージの貪食促進など生体防御に働きます。

SP-Dは肺に障害が起こる各種肺疾患において血流へ流出し、特に肺の纖維化を伴う間質性肺炎では血中濃度が高値を示すため、本検査は間質性肺炎の診断補助に用いられます。

また、間質性肺炎では急性増悪時に著明に上昇するため、疾患活動性の評価に有用とされています。

この度、現在受託しているCLEIA法の試薬と同等の性能を有するラテックス凝集比濁法の試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

●既に弊社Information No.2026-1にてご案内しましたとおり、現行のSP-D(依頼コードNo.09423)は2026年3月31日(火)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 第一岸本臨床検査センター

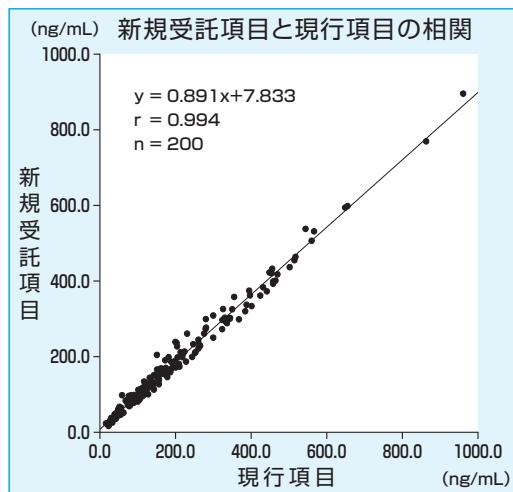
札幌本社: 〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎ 0570-085-212 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願ひいたします。

## 受託要領

	新規受託項目	現行項目(ご参考)
依頼コードNo.	14222	09423
検査項目名	SP-D	同左
統一コード	3F253-0000-023-062	3F253-0000-023-052
検体必要量	血清 0.5mL	血清 0.3mL
容器	B-1 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	CLEIA法
基準値	110.0未満	同左
単位	ng/mL	同左
報告範囲	15.0未満~最終値	15.0未満~100000以上
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	136点/144点(生化学的検査(I))	同左

## 相関図(ご参考)



自社検討資料

## 【検査方法の参考文献】

大島康平, 他: 医学検査 74, 340-346, 2025.